

青梅市文化財ニュース

第 8 9 号

平成 7 年 3 月 1 5 日

発行 青梅市文化財保護指導員連絡協議会

青梅市郷土資料室

(青梅市駒木町 1-684 TEL0428-23-6859)

さくらさくら

弥生、3月。陽の光はさらに輝きを増し、流れの水もぬるんで岸边にはネコヤナギの芽がはじけます。快い風に誘い出された小鳥たちは春の訪れの喜びを謳^{うた}います。春といえば花、花といえばサクラ、3月はその季節の開幕です。青梅市内には各地にいろいろな種類のサクラがあります。どうぞ、その美しさを訪ねてお出かけください。

＜カンザクラ 寒桜＞ 3月にはいると、ちらほらと咲き始めます。第1小学校の西方、竹内耳鼻科医院の前のJR用地内のほかに二俣尾と沢井の駅前にあります。沖縄県に多い早咲きで濃紅色の＜カンヒザクラ 寒緋桜＞とヤマザクラ系のサクラの雑種だといわれています。国立駅の構内にもあって毎年、この時期には通勤ラッシュの人々の目を楽しませてくれます。

＜エドヒガン 江戸彼岸＞ 中央図書館の西側の梅岩寺の境内にあります。春の彼岸のころには咲き始めるのでこの名があります。アズマヒガン、ウバヒガンともよばれています。

＜シダレザクラ 枝垂れ桜＞ エドヒガンの園芸種で全国各地に名桜とよばれるものがたくさんあります。市内では天然記念物に指定されている梅岩寺のシダレザクラのほかに金剛寺、二俣尾の海禅寺、西分町の宗徳寺などのものがみごとです。

＜オオシマザクラ 大島桜＞ 伊豆諸島、伊豆半島、房総半島に多いサクラです。花は白く、香りがあり、葉は塩漬けにして桜餅を包むのに使います。公害にも強いいため市内東部の新設校の校庭や公園にはこのサクラが多く植えられています。

＜ソメイヨシノ 染井吉野＞ エドヒガンとオオシマザクラの雑種と考えられ、江戸時末期に江戸の染井村（現 豊島区）の植木屋によって売り出されたのでこの名があります。現代の桜の名所のほとんどがこれです。市内では各小・中学校の校庭、郷土博物館前の多摩川畔、吹上峠の北斜面などがみごとです。吹上峠の桜は現在の天皇のご成婚記念に植えられたもので樹勢の最盛期を迎えており、自動車が通らなくなった旧道は花見には格好の地です。

＜ヤマザクラ 山桜＞ 山地に自生し古くから人々に愛されてきました。薄紅色の若葉と同時に花を開きますが青梅市付近では、これによく似た＜カスミザクラ 霞桜＞のほうが多いようです。ヤマザクラより花の時期が遅いことなどからも区別できます。

＜サトザクラ 里桜＞ 突然変異、人為的に交配、選抜などによってつくり出された園芸品種

を里桜と呼んでいます。その代表的なものに＜ヤエザクラ 八重桜（青梅市付近では茶碗桜とも呼ばれる）＞があります。慶事に使う桜湯はこの花を塩漬けにしたものです。市内で第4小学校の東側にある農林高校の実習田の緑に多くの種類が植えられています。ヤエザクラが咲けば遅霜の心配も無くなって田に畑に農作業が盛んになり、今年の春が暮れます。

（文責 中西 勲）

＊ 第88号でご案内いたしました、3月19日（日）に行われます文化財めぐり『鎌倉道を歩く』のコースが誤っておりました。お詫び申し上げます。

正しいコース 上成木……松木峠……佐藤家……榎峠……奥沢橋

＊青梅市郷土博物館では、現在、『新収蔵品展』を開催しております。